

評価細目の第三者評価結果（高齢分野）

A-1 生活支援の基本と権利擁護

A-1-(1) 生活支援の基本

特養・通所 A① A-1-(1)-①	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じた一日の過ごし方ができるよう工夫している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>入所時に、本人や家族から暮らしの意向や生活習慣、趣味等を聞き取り、ケアプランや日課に取り入れ、支援している。新聞を読む人、読書や編み物等、利用者一人ひとりが好きなことをしながら過ごしている。また、なかにはタオルやエプロンたたみや床掃除を自ら手伝う利用者もいるとの事である。現在、コロナ禍の影響で、外出や社会参加ができず、ボランティアの受け入れも制限しており、複数の活動メニューも実施困難な状況にある。しかし、そのような中でも、感染対策に万全を期して、コンビニの出張販売で菓子販売を実施したり、ダンゴ屋さんを開いたりする等、施設内でもできることを工夫しながら実施している。また、外出の代わりに車中ドライブに出かける等、生活を楽しくしてもらえるよう取り組んでいる。利用者の中には、アイパットを使用したり、ユーチューブを楽しむ人たちも出てきて、趣味の幅も広がってきている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
訪問 A② A-1-(1)-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせて、自立した生活が営めるよう支援している。	A・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p>	
改善できる点/改善方法：	
養護・軽費 A③ A-1-(1)-①	
利用者の心身の状況に応じた生活支援（生活相談等）を行っている。	
<p>良い点/工夫されている点：</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A④ A-1-(1)-②	第三者評価結果
利用者一人ひとりに応じたコミュニケーションを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>利用者それぞれの担当者が特にコミュニケーションの機会を持つようにしている。難聴がある利用者の場合には、文字盤を使用したり、絵や手振り等のノンバーバルコミュニケーションを活用する等</p>	

<p>、利用者一人ひとりの状況に合わせて対応している。また、利用者への言葉づかいや接遇について年2回、研修を開くとともに、毎月、自己チェック表で対応の振り返りを行ったり、個別のコミュニケーションの方法や支援について、サービス担当者会議やフロア会議で定期的に話し合っている。利用者の立場に立って、話したい事、やりたいこと、やってほしいことについて、自由に話せたり、伝えたりできているだろうか等について、常に意識しながら、コミュニケーションに努めている。</p>
<p>改善できる点/改善方法：</p>

A-1-(2) 権利擁護

<p>特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑤ A-1-(2)-①</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>利用者の権利擁護に関する取組が徹底されている。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点： 利用者支援の基本方針に権利擁護と生活の質の向上を記載しており、利用者の権利を守り、自己実現を支援する観点から、利用者本位、身体拘束、虐待について重点的に職員教育を実施している。また、法人として虐待防止ガイドラインを設けるとともに、虐待についての項目を職員必携に記している。身体拘束や虐待の内容を研修に取り入れたり、場面ごとの事例集を作成し、虐待についての気づきを促す等して、利用者の権利擁護に取り組んでいる。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-2 環境の整備

A-2-(1) 利用者の快適性への配慮

<p>特養・通所・養護・軽費 A⑥ A-2-(1)-①</p>	<p>第三者評価結果</p>
<p>福祉施設・事業所の環境について、利用者の快適性に配慮している。</p>	<p>Ⓐ・B・C</p>
<p>良い点/工夫されている点： オゾン発生器を備え、換気を行い、温度、湿度、採光にも配慮している。施設内の床と壁には県産の木材を使用しており、落ち着いた雰囲気や温かみを感じられる。廊下も広く、車いすやリフト、介護ロボット等の通行にも妨げることがない。居室にはそれぞれに好みの物を置く等、利用者の生活スタイルに配慮した空間づくりができています。また、日中の過ごし方も利用者の意思を尊重し、そこかしこで思い思いに過ごしている。コロナ禍の影響で直接の面会は制限せざるを得ない状況にあるが、面談用の小部屋を作り、ガラス越し面会を行っている。</p>	
<p>改善できる点/改善方法：</p>	

A-3 生活支援

A-3-(1) 利用者の状況に応じた支援

特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑦ A-3-(1)-①	第三者評価結果
入浴支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>浴室には、一般浴、寝浴、座浴等の浴槽があり、心身の状態に合わせた入浴支援を行っている。また、天井走行リフトが設置されているので、より安全に入浴ができ、職員の負担軽減につながっている。入浴支援は利用者との1対1のコミュニケーションができる機会でもあり、利用者との向き合える時間が取れている。利用者の健康状態や意向等に応じて、入浴日を変更したり、清拭や足浴等に変更する等、柔軟に対応している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑧ A-3-(1)-②	第三者評価結果
排せつの支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>ケアプランに基づき、利用者の自立支援に重点を置き、一人ひとりの心身状況に合わせた排せつ支援を行っている。排せつ状況の把握のため、チェック表や記録等で排せつ状況を把握し、プライバシーに配慮しながら、しぐさや訴えにできる限り早い対応を行い、トイレでの排せつができるよう取り組んでいる。また、スムーズな排せつを促すために、乳製品の摂取等の食事改善、水分摂取や適度な運動を行い、トイレでのプライバシーに配慮しながらの排泄の支援を行っている。スカイリフトも設置されており、排せつ支援の負担軽減に役立っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑨ A-3-(1)-③	第三者評価結果
移動支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>安全に移動しやすいように廊下の幅が広く、手すりも設置され、壁などの角に覆いをし、安全の確保に努めている。利用者の移動能力に合わせて、車いすや歩行器等、多様な用途に応じた福祉機器をそろえている。天井走行リフトが居室に設置され、床走行リフト、介護ロボットも導入する等、介護負担の軽減も図っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-3-(2) 食生活

特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑩ A-3-(2)-①	第三者評価結果
---	---------

食事をおいしく食べられるよう工夫している。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>アンケートを実施し、利用者の意見を汲み上げ、毎月、委託業者も参加した食事検討会を開き、利用者の希望や好みを献立に反映している。また、テイクアウトを頼んだり、手作りおやつと一緒に楽しむ機会を設けている。適温で食事をし、料理に合った食器の使用や盛り付け等の工夫をする等して見た目のおいしさにも心配りしている。利用者の中で好みでないメニューがある場合には、代替の献立を準備したり、また、食堂の座席にも利用者間の関係性を配慮して席を決めている。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑪ A-3-(2)-②	第三者評価結果
食事の提供、支援を利用者の心身の状況に合わせて行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者の自力で摂取できる範囲、嚥下能力等に合わせて、食事形態、食器類、補助用具を個別に揃えとともに、栄養マネジメントを行う等、きめ細かな支援をしている。また、自分のペースで食べられるように声かけに努めるとともに、嚥下しやすいよう姿勢や座位を考える等、心身の状況に配慮した食事ケアにあたっている。歯科検診を定期的に受診にしているが、その際に唾液と嚥下機能のチェックを行い、嚥下能力を検討して食事形態を決めている。食事中の事故を想定した研修も実施し、緊急時に職員が対応できるよう取り組んでいる。</p>	
改善できる点／改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑫ A-3-(2)-③	第三者評価結果
利用者の状況に応じた口腔ケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>年1回、歯科検診を全利用者が受けている。また、定期的に歯科医師による訪問治療も受ける事ができ、義歯の治療も行っている。歯科医師、歯科衛生士の指導により、利用者の状態に応じた口腔ケアの方法や支援の留意点等の研修を実施するとともに、指導や助言を受けて口腔状態や咀嚼嚥下機能のチェックを行っている。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-3-(3) 褥瘡発生予防・ケア

特養・通所・訪問・養護・軽費 A⑬ A-3-(3)-①	第三者評価結果
褥瘡の発生予防・ケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>褥瘡発生のメカニズム、発生の予防、治療等について職員研修を行うとともに、褥瘡発生予防に関する指針を作成する等の取り組みを行っている。褥瘡を予防するために、定期的な体位交換、福祉用具の使用、皮膚の状態の確認、清潔保持、栄養管理等、全般的なケアについて、医師、看護師を含む関係職員が連携した委員会を通じて検討している。</p>	

改善できる点/改善方法：

A-3-(4) 介護職員等による喀痰吸引・経管栄養

特養・通所・訪問・養護・軽費 A14 A-3-(4)-①	第三者評価結果
介護職員等による喀痰吸引・経管栄養を実施するための体制を確立し、取組を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>登録喀痰吸引等事業者として登録し、喀痰吸引と経管栄養について所定の研修を修了した介護福祉士を配置し、家族の同意を得て医師の指示の下、夜間の吸引を含めて実施している。昼間は看護師が主に実施し、夜間等は介護福祉士も対応している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-3-(5) 機能訓練、介護予防

特養・通所・訪問・養護・軽費 A15 A-3-(5)-①	第三者評価結果
利用者の心身の状況に合わせ機能訓練や介護予防活動を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>看護師が中心となり、生活リハビリとして日常生活動作の自立を目指して実施している。残存能力の維持向上を目的とし、自立心を高める声かけや支援の方法を考え、主体的に取り組めるようサービス計画を立て、実施している。福祉事業者の助言を得て、利用者の状況に応じた福祉用具を使用し、介護予防につなげている。また、レクリエーション、趣味活動、行事等を計画し、利用者が楽しみながら訓練を行う事ができるように工夫している。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-3-(6) 認知症ケア

特養・通所・訪問・養護・軽費 A16 A-3-(6)-①	第三者評価結果
認知症の状態に配慮したケアを行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>認知症介護基礎研修を順次、職員に受講できるよう計画し、認知症についての理解を深めている。問題行動や周辺症状がある場合、背景や原因を推し量り、気持ちに寄り添うケアを行い、利用者の不安の解消に努め、落ち着いて過ごす事ができるよう支援している。</p>	

改善できる点/改善方法：

A-3-(7) 健康管理、衛生管理

特養・通所・訪問・養護・軽費 A17 A-3-(7)-①	第三者評価結果
日常の健康管理が適切に行われている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>毎日、検温、排せつ状況、睡眠、水分摂取量、食事量等についてデータで管理し、情報共有を行っている。看護師が常駐し、フロア巡回や入浴支援を通じて、利用者の心身状態を把握している。日常的なケアの中で、利用者に異常や変化があれば看護師に報告し、症状によっては受診する等の対応を行っている。定期的な健康診断やインフルエンザ、コロナワクチンの予防接種も実施している。また週2回の内科検診、週1回の歯科検診、月2回の精神科検診等の訪問診察が行われている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A18 A-3-(7)-②	第三者評価結果
必要な時には、迅速かつ適切な医療が受けられる体制が整備されている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>看護師は24時間、いつでも連絡可能な体制があり、協力病院の嘱託医とも連携体制ができており、適切な医療が受けられる体制にある。緊急時の対応マニュアルも整備され、急変時の対応についての研修も行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
特養・通所・訪問・養護・軽費 A19 A-3-(7)-③	第三者評価結果
感染症や食中毒の発生予防を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>感染症対応マニュアルを整備している。年2回、感染症と食中毒についての研修を計画し、研修委員会が予防や対応について実技を含めた研修を実施している。職員のインフルエンザ接種も実施し、予防具(マスク、プラスチック手袋等)の着用を徹底し、検温、健康チェックを行う等、健康管理も徹底して行っている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

A-3-(8) 終末期の対応

特養・訪問・養護・軽費 A20 A-3-(8)-①	第三者評価結果
----------------------------------	---------

利用者が終末期を迎えた場合の対応の手順を確立し、取組を行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者・家族に対して、終末期の介護のあり方や看取りケアの方針等について契約時に説明し、意向を把握するとともに、重篤化した場合には、その都度説明を行い、意向を再確認している。看取りケアにあたっては、医師や看護師と24時間の連携体制を取りつつ、利用者・家族の気持ちに寄り添った支援に努めている。看取りケア後の職員の精神的なケアを行うとともに、終末期ケアについての研修会も実施している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-4 家族等との連携

A-4-(1) 家族等との連携

特養・通所・訪問・養護・軽費 A② A-4-(1)-①	第三者評価結果
利用者の家族等との連携と支援を適切に行っている。	Ⓐ・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>利用者と家族のつながりの継続を大切に、季節ごとの衣服交換の時期等、機会を捉えて、家族の来所を促している。また定期的にケアプランや便り等を通じて、利用者や園の様子を伝えるとともに、利用者の体調不良や急変時の連絡を適切に行っている。現在、コロナ禍の影響により面会が困難な状況にあるが、その中でも感染予防に配慮したガラス越しの面会室を作り、できるだけ面会できるよう支援している。</p>	
改善できる点／改善方法：	

A-5 サービス提供体制

A-5-(1) 安定的・継続的なサービス提供体制

訪問 A② A-5-(1)-①	第三者評価結果
安定的で継続的なサービス提供体制を整え、取組を行っている。	A・B・C
<p>良い点／工夫されている点：</p>	
改善できる点／改善方法：	